

川越女子高校「生徒手帳」より抜粋

生徒心得

私たちは、真理を求め、正義と自由を愛することにより、社会の一員としての、自己の責任を重んじ、自主的・民主的精神に満ちた人格を培う。そして広い視野と正しい判断力を養う。

この自覚のもとに、互いに協力し、秩序と規律の守られた明るい充実した学校生活を送ろう。ここにこの生徒心得を定める。

I 服装・所持品

1. 本校の制服は次のとおりとする。

なお、スカートとスラックスは選択できるものとする。

(1) 上着<図1>参照

- 着用は原則として10月1日から5月31日までとする。(6月以降でも寒い日は着用して良い。) 但し、5月と10月は移行期間とし、上着を着用せずにジレーを着用して登下校して良い。
- 布地は紺サージ。
- 3つボタン背広型。
- 両わきに蓋付きのきりポケットをつける。

(2) スカート<図3>参照

- 布地は紺サージ。
- 前後に2本の突き合わせヒダを入れる。ヒダの深さは5cm位。
- ヒダの上部はダーツの長さ位まで縫い合わせる。
- ベルトの幅は3cm位。
- スカート丈は膝丈を標準とする。

(3) ブラウス・ワイシャツ

- 色は白。(夏季はポロシャツも可。)
- 型は<図3>を基準とする。

(4) ジレー<図2>参照

- 式典・全校集会(始業式・終業式)・学年集会・個人写真では着用する。
- 布地は紺サージ
- 丈はウエスト線より10cm位。
- 左胸に玉縁ポケットをつける。

(5) スラックス

- 学校指定のもの。裾はシングルとする。
- 式典での着用可。
- ベルトを着用する場合は、無地で、色は黒またはこげ茶とする。

- 上着の下にはセーター・カーディガン等を着用して良い。但し、無地で黒・白・紺・灰色・ベージュ・茶とし、ワンポイントは可。
- コート・オーバーは華美でないものとする。
- ソックスは無地で黒・白・紺とする。ストッキング・タイツは無地で黒・紺・ベージュとする。
- 通学靴は黒・紺・茶・白とする。(サンダル・スリッパ等は禁止。)
- 特別の服装は異装願を担任に提出して許可を受ける。
- 校章は上着の左襟に必ずつける。ジレーの場合は左胸部とする。
- 貴重品、その他の持ち物は個人が責任をもって管理する。
- 金銭、物品を紛失または拾得した場合は、直ちに教師に申し出る。
- 頭髪はパーマ・染色・脱色などの加工は施さない。
- 化粧はしない。装飾品はつけない。
- 式典時(入学式・卒業式など)は、次のとおりとする。
上着・ジレー着用。校章は上着の左襟に必ずつける。ソックスは無地で黒または紺。
防寒のためにストッキング・タイツを着用する場合はベージュ。スカート丈は膝丈。

服装に関する申し合わせ事項

服装に関する申し合わせ事項は生徒心得を補足するものです。生徒心得をしっかりと理解し、川越女子高校の生徒として規律ある制服の着こなしをしましょう。

1. 登下校時はコート類の下及びセーター等の上に上着を着用する。
 2. スカートの下のジャージ着用は不可とする。
 3. 式典・始業式・終業式・全校集会・学年集会ではジレーを着用する。
 4. 夏季は着ることのできるポロシャツの色は白または紺。ワンポイントは可。
 5. セーター・カーディガン等は、無地で黒・白・紺・灰色・ベージュ・茶のいずれかとする。
ワンポイントは可。
 6. コート類は無地でウール、綿素材のもの、または、ダウンとする。形状は上着が出ないもの、
またスカートが隠れないものとする。色は黒・紺・灰色・ベージュ・茶のいずれかとする。
 7. ソックスは無地で白・黒・紺とする。ワンポイントは可。
 8. ストッキング・タイツは無地で黒・紺・ベージュのいずれかとする。
- ※ 各項目のワンポイントについてはブランドマークの刺繍程度とする。フリルやライン等は不可。

<図1>



<図2>



<図3>

